

# 戦争の惨禍を、二度と再び世界に広げないことを祈念して 根室空襲犠牲者追悼のつどいが行われました

7月15日、鳴海公園にある「平和祈念の碑」前で根室空襲犠牲者追悼のつどいが開催されました。市民ら約20名が参加し、空襲犠牲者の冥福を祈り、惨禍を後世に語り継ぎ、平和を守る誓いをあらたにしました。

「根室市平和祈念の碑」は2015年8月に建立され、碑の裏側には多くの方々の寄付によって、犠牲となった方のお名前が刻まれています。この祈念碑の前で毎年、根室空襲の犠牲者を追悼し、後世に語り継ぐため、根室空襲研究会とねむろ「九条の会」が共催して追悼のつどいを開催しています。

開会の言葉で、根室空襲研究会の近藤敬幸事務局長（ねむろ「九条の会」副代表）は、「コロナの状況であるが、平和を大事にし、戦争で亡くなった方々の犠牲の実態を広く後世に残すためにつどいを開催した」と述べました。

空襲で沈没した東裕丸から漂着した軍人の遺体は当時、海岸に埋められました。それから約40年後、空襲研究会も協力して遺体を発掘し、千鳥ヶ淵戦没者墓地に改葬した経験などを話していました。

## 共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第2026号 2022年07月24日  
日本共産党 根室市議団  
根室市宝林町4-203 TEL0153-23-6023



## 市教委の「青少年相談室」と 「ふれあいくらぶ弥生」移転

両施設はまちなかサロン恋問の2階に開設されていましたが、建物の老朽化のため、7月から旧札幌銀行の店舗跡に移転しました。



1階は事務室や不登校等の子ども達が学べる教室が配置されています。大きな窓は外からは見えない様にすりガラス風加工されており、彩光が十分な明るい学習スペースです。

2階には少し広めの相談室が配置されています。市教委によると道医療大の先生等の協力を得ながら、昨年からのカウンセリングの体制強化を進めており、今後はこの相談スペースを活用することも想定しているそうです。

ねむろ「九条の会」世話人の安達正敏氏は閉会あいさつで、「平和な国づくり、平和なまちづくり、本当に人命が大事にされ、日々の暮らしで一人一人が大事にされる世の中にしていけるよう、思想信条を超えて、みなさんと力をあわせて頑張っていきたい」と宣言しました。

根室空襲研究会の細川憲了会長（ねむろ「九条の会」代表世話人）は、追悼の辞として「根室空襲は無数の爆弾と犠牲者の実数は確認されていない。浦河丸・東裕丸など128隻の徴用船が沈んでいるが、軍の機密により不明のままであり、鎮魂の機会すらない」と指摘。その後の空襲研究会の調査活動を振り返りながら「あなたの方の尊い犠牲を忘れることなく、遺族の方々の長い苦しみを忘れることなく、根室空襲を伝え続け、戦争をしない日本、平和の日本を作ることがもつとも大切」と述べました。さらに、日本で戦争の道が開かれることは断固として阻止しなければならぬとして、「根室空襲の実態を通して、戦争の非情、無残を知り、武力では人々の平和は実現しないことを語り伝えなければならぬ」と話しました。

## 7月16日から春国岱の木橋が復旧・開通 ただし北海道が管理する木道部分は通行止めがつづく



昨年2月に破損し通行止めが続いていた春国岱の木橋が修繕され、7月16日に開通しました。この日は天候にもめぐまれ、家族連れなど多くの方々が散策する姿も見られました。

一方で駐車場入り口から続く北海道が管理する木道が、基礎部分の破損のため今年5月から通行止めとなっています。

道は予算措置をしているようですが、現時点で開通の見通しが立っておらず、奥の木橋部分につながる迂回路が設定されています。この春国岱を含め国定公園の指定に向けて注目されている状況でもあり、早いうちに修繕されることを期待しています。

## 今年も春国岱の一斉清掃を実施 根室ワイズユースの会

また同じ日に根室ワイズユースの会が主催する春国岱の一斉清掃も行われました。事務局（市農林課）含め会員ら約25名ほどが参加。ハマナス群落をフェンスで保護している周辺から、木道側に向かって海岸線のゴミを拾い集めました。トラック一杯になる330kgもの量で昨年の3倍以上、過去で一番多かったようです。また今年秋にも状況をみながら、再度の一斉清掃の実施を考えているそうです。



写真提供：根室市農林課